

2026 年度

サポートルーム 教 育 計 画

拠点校 南成瀬中学校 042 (729) 3441 (学校)

042 (718) 7103 (直通)

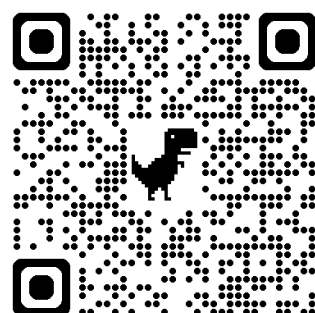
巡回校 成瀬台中学校 042 (728) 6030 (学校)

つくし野中学校 042 (795) 0323 (学校)

南中学校 042 (796) 2248 (学校)

サポートルームホームページはこちらから→

 [南成瀬中学校 サポートルーム](#)



目 次

1 サポートルームの教職員紹介

2 サポートルームの生徒数と巡回指導担当

3 サポートルームの年間計画（保護者、担任との連携）

4 サポートルームの目的

5 サポートルームの対象生徒

6 サポートルームの指導内容

7 サポートルームの指導形態

8 サポートルームの通級日、通級時間

9 サポートルームの入退級について

<資料>

- 小集団学習年間計画
- 学校生活支援シート
- 連携型個別指導計画
- 連絡ファイル

1 サポートルームの教職員紹介

教室主任・南成瀬中チーフ	平野 恵里	南中チーフ	岩崎 達也
成瀬台中チーフ	井口 茜	つくし野中チーフ	森田 朱音
南中副チーフ	宇賀 恵理	巡回指導教員	伊藤 直樹
巡回指導教員	田村 里美	巡回指導教員	石井 貴大
巡回指導教員	清水 一輝		
南成瀬中専門員	本城 奈々子	南中専門員	齋藤 千紘
つくし野中専門員	永津 さつき	成瀬台中専門員	渡邊 光興

2 サポートルームの生徒数と巡回指導担当

中学校	生徒数				担当教員 (口チーフ)	開設日
	1年	2年	3年	計		
南成瀬	9	10	11	30	平野、岩崎、井口、森田、宇賀、伊藤、田村、石井、清水	月、火、水、金
成瀬台	5	6	9	20	井口、平野、伊藤、田村	月、木、金
つくし野	9	2	6	17	森田、平野、石井、清水	火、水、木
南	6	16	21	43	岩崎、平野、井口、森田、宇賀、伊藤、田村、石井、清水	毎日

※生徒数は2026年4月1日現在

3 サポートルームの年間計画 (保護者、担任との連携)

	月	保護者	担任	サポートルーム
前	4月	保護者会① 保護者面談①	学校生活支援シート作成 前期個別指導計画作成	学校生活支援シート作成 前期個別指導計画作成
	5月			
	6月			
期	7月	教室公開週間	教室公開週間	教室公開週間
	8月	保護者会(学習会)②	前期個別指導計画評価作成 後期個別指導計画作成	前期個別指導計画評価作成 後期個別指導計画作成
	9月			
後	10月	保護者面談②		
	11月			
	12月			
期	1月		学校生活支援シート評価作成 後期個別指導計画評価作成	
	2月	保護者面談③		教育課程届作成 後期個別指導計画評価作成
	3月			新入生引継ぎ

◎年間を通して連絡ファイルを使用し、相互の様子を伝え共通理解を図る。

◎連絡ファイルは、サポートルーム→担任→保護者間で回していく。

4 サポートルームの目的

- ・障がいによる困難を改善、または克服すること。
- ・可能な限り多くの時間、在籍学級で他の生徒とともに学校生活を送ること。
- ・生徒の自立と社会参加につながる指導を進めること。

5 サポートルーム対象生徒

- ・通常の学級に在籍している生徒
- ・知的障がいのない発達障がいまたは、情緒障がいの生徒(これに近い特性のある生徒)
- ・通常の学級での学習に概ね(週3日程度)参加でき、一部特別な指導を必要とする程度の生徒

6 サポートルームの指導内容

- ・一人ひとりの障がいの状態や発達の段階に応じた指導目標を設定して、障がいによる学習又は生活上の困難を改善・克服するための指導を行う。
- ・指導するに当たっては、自立活動の中から個々の生徒に必要な項目を選定し、具体的な指導内容を設定する。
- ・自立活動の指導計画は個別に作成することが基本であり、集団で指導することを前提とするものではない。
- ・学習の遅れをとり戻すための補習ではなく、各自に有効な学習方法やスタイルを見つけるための指導を行う。

7 サポートルームの指導形態

- ・基本は、週2単位時間
- ・個別学習と小集団学習を組み合わせるが、必ず両方の指導が必要なわけではない。

個別学習	小集団学習
教員1人と生徒1～2人で、生徒の課題に応じた学習を行う。	個別の課題を設定しながら、少人数のグループ活動を行う。
<指導例> 自己理解、他者理解、漢字、英単語の読み書き、文章の読み取り、聞き取り、記憶、集中力を高める指導等	<指導例> ソーシャルスキル、コミュニケーションスキル 気持ちや行動のコントロール等

8 サポートルームの通室日、時間、欠席連絡

- ・通室日、時間は指導開始前までには決定し、保護者・担任に伝える。
通常学級の時間割変更に伴い、学期途中に通室日時が変更する可能性がある。
- ・週に1回しかない、技術家庭、音楽、美術、道德、総合、学活等には当てないようにする。
- ・通室日に、行事の練習やテスト等で欠席する場合は、できるだけ早くサポートルーム教員に伝える。
- ・体調不良等で当日急に欠席となった場合は、通常通り在籍学級に保護者が連絡をする。

9 入退級について

退級については、困難を完全に解消したかどうかではなく、生徒が自己の特性を理解して対応の仕方を学び、前向きに学習等に取り組むことができるようになったかという視点で捉える必要がある。

(指導期間)

サポートルームでの指導期間は原則 1 年とする。

(指導期間の延長)

生徒の特性や目標の達成状況により、原則の指導期間を延長することができる。

延長のための一定条件を満たした上で、学校と保護者が書類を作成し、教育委員会に申請する。

延長ができるかどうかは、申請書類の審査をもって決定する。

(指導期間の特例の延長)

延長した指導期間が満了した生徒の中で、退級にできないやむを得ない理由があり、更に延長して指導が必要となった場合には、特例として延長の申請をすることができる。ただし校内委員会で、さらなる延長が必要と判断した場合に限る。保護者からの延長希望のみで決定するものではない。

(サポートルームの再入級)

退級後 6 ヶ月の期間を空けた上で、入級相談会で入級が適切だと判断されれば、再びサポートルームの指導を受けることができる。

(退級)

基本は 1 年間で退級となる。

途中退級については、本人、保護者、担任、巡回指導教員、巡回心理士が実態把握をし、校内委員会で検討する。

入室時の目標が達成され、本人・保護者ともに合意が得られたら、退級申請書を教育委員会に提出する。

(退級後のサポート)

必要な際は、いつでも相談することができる。また、教室での適切な支援について担任に助言等を行う。

学期		2026年度小集団学習年間計画			
日程		6区分	27項目	指導例	
前期	①5/11	1	健康の保持	(4)障害の特性の理解と生活環境の調整	オリエンテーション①(目標決め)
	②5/18	3	人間関係の形成	(1)他者との関わりの基礎	オリエンテーション②(アセスメント)
	③5/25	5	身体の動き	(1)姿勢と運動・動作の基礎基本技能	体育祭に向けて(バトン、縄跳びのコツ)
	④6/1	1	健康の保持	(1)生活リズムや生活習慣の形成	定期テストに向けた提出物の管理
	⑤6/8	5	身体の動き	(1)姿勢と運動・動作の基礎基本技能	ボッチャ
	⑥6/22	3	人間関係の形成	(2)他者の意図や感情の理解	協力ジェスチャー
	⑦6/29	6	コミュニケーション	(3)言語の形成と活用	3ヒントクイズ
	⑧7/6	1	健康の保持	(4)障害の特性の理解と生活環境の調整	ゲーム、SNSのコントロール
	⑨7/13	3	人間関係の形成	(2)他者の意図や感情の理解	暗黙の了解(はあっていうゲーム)
	⑩9/2	6	コミュニケーション	(2)言語の需要と表出	夏の思い出・会話のキャッチボール
	⑪9/7	1	健康の保持	(4)障害の特性の理解と生活環境の調整	整理整頓、忘れ物対策
	⑫9/14	4	環境の把握	(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況	コグトシなど
	⑬9/28	4	環境の把握	(1)保有する感覚の活用	見る力(ビジョントレーニング)
	⑭10/5	4	環境の把握	(1)保有する感覚の活用	聞く力(聞く聞くドリル)
後期	⑮10/13	2	心理的な安定	(3)障害による学習上または生活上の困難を改善・克服する意欲	アインシュタインゲーム
	⑯10/19	4	環境の把握	(3)障害による学習上または生活上の困難を改善・克服する意欲	アハ体験、間違い探し
	⑰10/26	5	身体の動き	(5)作業に必要な動作と円滑な遂行	微細運動(定規、コンパス、ハサミ)
	⑱11/2	5	身体の動き	(1)姿勢と運動・動作の基礎基本技能	コーディネーショントレーニング
	⑲11/16	2	心理的な安定	(2)状況の理解と変化への対応	怒りのコントロール
	⑳11/24	2	心理的な安定	(2)状況の理解と変化への対応	不安のコントロール
	㉑11/30	2	心理的な安定	(1)情緒の安定	ストレス対処法
	㉒12/7	2	心理的な安定	(1)情緒の安定	リフレーミング
	㉓12/14	3	人間関係の形成	(3)自己の理解と行動の調整	セルフアドボケーション、自分研究
	㉔1/12	1	健康の保持	(4)障害の特性の理解と生活環境の調整	今年の抱負、今年の一文字漢字
	㉕1/18	6	コミュニケーション	(1)コミュニケーションの基礎能力	上手に相談しよう
	㉖1/25	6	コミュニケーション	(5)状況に応じたコミュニケーション	アサーティブコミュニケーション
	㉗2/1	4	環境の把握	(5)認知や行動の手掛かりとなる概念	あなたならどうする?
	㉘2/8	3	人間関係の形成	(3)自己の理解と行動の調整	相手の気持ちを考える
㉙2/15	5	身体の動き	(1)姿勢と運動・動作の基礎基本技能	モルック	
㉚3/1	3	人間関係の形成	(4)集団への参加の基礎	コンセンサスゲーム	
㉛3/9	6	コミュニケーション	(2)言語の需要と表出	成果と課題発表	

学校生活支援シート

(個別の教育支援計画)

年度作成

このシートは、お子さんの学校生活を充実したものにするため、御家族と学校、関係する様々な立場の人が、お子さんをどのように支えていくか話し合い、記録していくものです。
お子さんが、充実した豊かな学校生活を送ることができるよう、学校での学習や家庭での生活について、一緒に考えていきましょう。

フリガナ		性別	学年・組
氏名			
学校		校長名	
		担任名	
備考			

1 学校生活への期待や成長への願い (こんな学校生活がしたい、こんな子供 (大人) に育ててほしい、など)

本人から	
保護者から	

2 現在のお子さんの様子 (得意なこと・頑張っていること、不安なことなど)

--

3 支援の目標

--

学校の指導・支援

家庭の支援

--	--

5 支援会議の記録

日時 年 月 日 : ~ :	参加者:	協議内容・引継事項等
日時 年 月 日 : ~ :	参加者:	協議内容・引継事項等
日時 年 月 日 : ~ :	参加者	協議内容・引継事項等
日時 年 月 日 : ~ :	参加者	協議内容・引継事項等
日時 年 月 日 : ~ :	参加者	協議内容・引継事項等

6 成長の様子

7 来年度への引継ぎ

以上の内容について了解し確認しました。

年 月 日 保護者氏名

<前期>

生徒 氏名	在籍校	年	在籍校校長：	
			学級担任：	

<入級日>	年	月	入級	<退級日>	<指導担当>
-------	---	---	----	-------	--------

<指導回数>	<指導形態>	小集団・個別
--------	--------	--------

<入級理由>	()	学習面	()	行動面	()	社会面	()	その他
--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

<年間指導目標>

面	○
	○

面	○
	○

●サポートルーム

	[短期目標]	[具体的手立て]	[指導経過及び評価]
面			
面			

●在籍学級

[具体的手立て]

[指導経過及び評価]

《今週の振り返り》

日にち	曜日	時間目		活動内容
/			個別 ・ 小集団	
/			個別 ・ 小集団	

《今日の成果と反省》

◎	
○	
△	

《次回の予定》

日にち	曜日	時間目	持ち物
/			
/			

《サポートルームより》

記入日 _____ 月 _____ 日 ()

本日の配布物 なし・あり()

《在籍学級担任より》

記入日 _____ 月 _____ 日 ()

	印・サイン

《家庭より》

記入日 _____ 月 _____ 日 ()

	印・サイン